

号外はインターネットの福島民報ホームページ (<https://www.minpo.jp/>) でもご覧になれます。

アントニオ猪木さん死去

「燃える闘魂」国会議員も 79歳

「燃える闘魂」のキャッチフレーズで昭和、平成のプロレスブームをけん引し、参院議員も務めたアントニオ猪木(本名猪木寛至)のき・かんじ)さんが1日午前7時40分、心不全のため自宅

で死去した。79歳。神奈川県出身。マネジメント会社が明らかになった。中学の時にブラジルに移住。遠征した力道山の目に留まり、17歳の時に日本プロレス入団。力道山の死後、ジャイアント

馬場とのコンビでプロレス人気を復活させた。1972年に新日本プロレスを設立。得意技の「延髄斬り」などを駆使し、悪役のタイガー・ジェット・シンとの抗争や日本人トップ同士の対

決、柔道や空手など他の格闘技の一流選手と対決する「異種格闘技戦」など斬新な企画に挑み、注目された。76年にはプロボクシング世界ヘビー級王者のムハマド・アリ(米国)と

の一番を現実させた。『世紀の大凡戦』と酷評されたが、不可能とされた一戦に挑戦した生きざまへ共感も多く、「アリと闘ったプロレスラー」として世界的な知名度につながった。おなじみの「元気ですか!」「1、2、3、ダー!」のフレーズで日本国内でも幅広く親しまれた。



89年にスポーツ平和党(当時)から出馬し参院選に当選。湾岸危機の際は90年にイラクに渡って日本人人質の解放に尽力した。98年にレスラーとして現役引退。2013年の参院選で日本維新の会から立候補して当選し18年ぶりに国政へ復帰した。独自のパイプを持つ北朝鮮に何度も足を運び、19年に政界からも退いた。20年に心臓の病気を患っていることを公表。動画投稿サイト「YouTube」で闘病の様子を配信した。今年6月には新型コロナウイルスに感染したことも明らかになった。